交換留学プログラム（HUSA）2027 年度派遣学生第一次募集
本学教員（指導教員等）の所見入力フォームについて

申請者から「留学計画書」を受領次第，以下の URL 又は QR コードから申請者ごとに所見をご入力ください。

入力期限：2027 年 1 月 15 日（金）12:00 まで

https://forms.cloud.microsoft/r/D0g5t2tZZS

上記フォームの確認事項①と②について，以下 2 項目について評価基準に基づき，それぞれ 5 段階評価を行ってください。（※学生には公開されません。また，評価が 2 以下の学生は，原則派遣しません。）

評価の狙い：１．申請者の留学の動機・目的などがはっきりしているかどうか確認する。
２．申請者が留学先の勉学、生活に耐え得るだけの身体的・精神的強さを持っているかどうか確認する。

評価基準

評価	①留学目的･目標の明確さ及び実現性	②外国生活への適応力
5	海外の大学等に留学する目的及び目標が明確かつ教育上有益であり，その目的及び目標を達成するための具体的かつ実現可能な計画が設定されていることから，海外の大学等での学修を通じて十分な学修成果を上げることが期待される。	海外渡航に必要となる危機管理意識を持ち，様々な状況変化に対する高い適応力を有していることから，長期間の外国生活に支障なく適応できることが見込まれる。
4	海外の大学等に留学する目的及び目標が明確かつ教育上有益であり，その目的及び目標を達成するための計画をより具体的かつ実現可能なものに見直すことで，海外の大学等での学修を通じて学修成果を上げることが期待される。	海外渡航に必要となる危機管理意識を持ち，状況変化に対する適応力を有していることから，引き続き努力することで長期間の外国生活に適応できることが見込まれる。
3	海外の大学等に留学する目的及び目標が若干不明確ではあるが，教育上有益であると判断できることから，海外の大学等での学修を通じて学修成果を上げるためには，派遣までの期間で目的及び目標の明確化及び計画の見直し等、相当の努力を要する。	海外渡航に必要となる危機管理意識を持ち，ある程度の状況変化に対する適応力を有しているが，留学開始までに長期間の外国生活に適応する水準に達するためには相当の努力を要する。
2	海外の大学等に留学する目的及び目標が不明確であり，教育上有益であると判断できないことから，海外の大学等での学修を通じて学修成果を上げる見込みがない。	海外渡航に必要となる一定の危機管理意識を持っているが，状況変化に対応できる適応力が乏しいことから，留学開始までに長期間の外国生活に適応できる水準に達する見込みがない。
1	海外の大学等に留学する目的及び目標が教育上有益でないため，留学させるべきではない。	海外渡航に必要となる最低限の危機管理意識を有していないため，留学させるべきではない。